



◇第27回「租税用語競書展」が開催されました

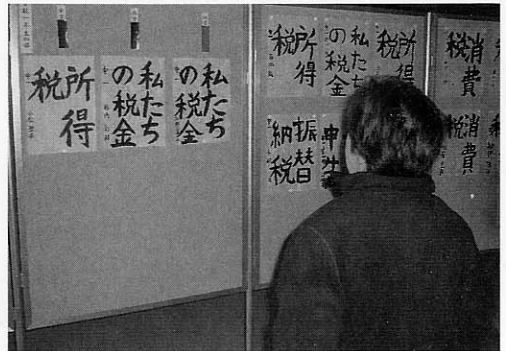
租税用語競書展が、11月15日（水）から23日（木）までの間、文化センターロビーで開催されました。

これは、「税を考える週間」（11月11日～17日）の中で町内の児童生徒に対する租税教育を推進している滝上町租税教育推進懇話会（幹事 品田恒男商工会長）が、町内の小学校の協力を得て毎年開催しているもので、今回で27回を数えることとなりました。

町は、わたしたちが健康で豊かな生活をするために、いろいろな仕事をしています。

これに要する費用のほとんどは税金によって賄われています。次の世代を担う児童生徒のみなさんが、広く私たちのくらしの中で役立っている「税」に対する関心をもち、理解を得るように「税に関する用語」の書道を募集しました。

競書展には、小学5年生23人、同6年生16人、中学1年生25人の、合計64人の応募がありました。



入選者は次のとおりです。

小学5年生の部	金賞 有澤 篤	白鳥小
	銀賞 三島 渉	白鳥小
	銅賞 渡邊 愛沙	濁川小
小学6年生の部	金賞 白幡 悠里	濁川小
	銀賞 藤田 貴一	滝上小
	銅賞 瀧本 詩乃	滝上小
中学1年生の部	金賞 小松 亜未	滝上中
	銀賞 谷内 彩綺	滝上中
	銅賞 矢野 真子	滝上中

◇実りの秋に感謝！

11月19日（日）、文化センターで滝上町畑作振興会の会員による『収穫感謝祭』が行われました。

「春には豊作祈願をしたのだから、今度は実りの秋に感謝しよう！」という三島会長の言葉が発端となり開催となった感謝祭では、今年収穫した小麦を使って『うどん』を作りました。

普段めったにみられないお父さんのエプロン姿や、家族揃って汗だくになりながら生地をこねている姿はほのぼのとした光景でした。



地元の小麦粉を使った『うどん』づくり



自分で作った『うどん』はうまい！

お昼には、自分で作った『うどん』と地元産の食材を使ったお汁粉を食べながら「汗かいた分だけおいしく」、「超太麺でパスタみたい」など出来上がりを味わっていました。この後ビンゴゲーム等で楽しいひと時を過ごしました。

今回の『うどん』に使った地元産小麦粉を、期間・数量限定で左記の場所で販売しています。

- ・エーコープ滝上店
- ・ホテル渓谷
- ・道の駅「香りの里たきのうえ」